



東京本部 東京都豊島区巢鴨 1-10-3 第三川端ビル 2階
広島Office 広島市中区舟入町 2-20 三栄広島ビル 1階・4階

TEL : 03-5981-9131
TEL : 082-232-0369

2021.11.8

農業特集2

完全無農薬農法最前線

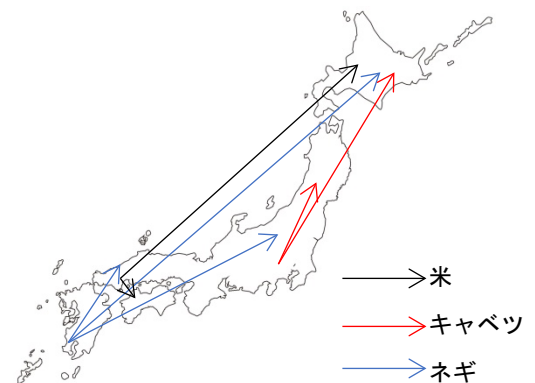
私達の目指す安全で快適、そして豊かな日本のために。

●日本列島「無農薬米プロジェクト」が広島からスタートしました。(実験的に 50 反で実施)

極めて美味しい安全な「お米」を口にして満足感で一杯です。(残留農薬は^{ゼロ}です。)
一日も早く「子供たち」に食べさせてあげたいと思いました。
来年は広島だけで 50 トンの生産を予定しています。

●ネギの完全無農薬栽培の成功

熊本県熊本市郊外で今年からスタートしたネギ(羽^{はね}緑)の生産が順調に終了しました。(完全無農薬栽培です。)
この成功が熊本から広島へと広がっていきようとしています。



●キャベツ・キャベツ・キャベツ

山梨県での成功は東北へそして北海道へ広がっていきようとしています。
今年は雨が多く、通常栽培のキャベツは菌や虫に食われ散々な状況でした。でも電解電子機能水ECOMIZER®によって育てられたキャベツは元気一杯。
農薬を一斉使わなくても十分対応出来る事を見事証明しました。



広島県安芸高田市の無農薬米



山梨県鳴沢村の無農薬キャベツ



熊本の無農薬ネギ



広島は無農薬野菜

●海外での生産事例(モリンガ編)

中国海南省での生産状況です。(8℃以下でも元気に成長しました。)

※モリンガは8℃以下になると葉が落ちます。



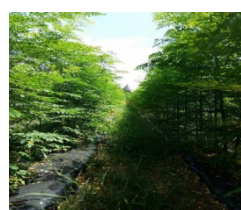
種の浸漬



播種から 20 日後の生育状況



播種から 70 日 幹は 4.5cm に成長



林になり樹高も 2m に達した



根の比較



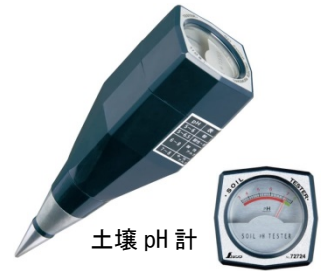
葉の比較

わかりやすい電解電子機能水農法

この農法を普及させ日本列島を「無農薬列島」にしていきたいと思います。

●準備編

- 土壌酸度計を用い土中 pH 値を確認します。
(理想的な土壌 pH は 5.5~7.0 とされています。)
- 作土層の深さを確認します。
鉄製(金属製)の棒を右絵のように土へゆっくり余力を入れずに差し込んで下さい。
(作土層とは植物が根を張れる深さです。本来は 1m 以上入ります。)

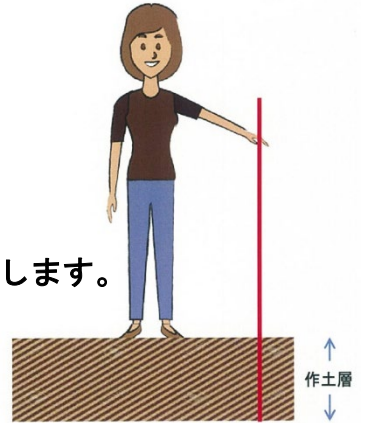


土壌 pH 計

●作業編

状況に応じ次の 3 通りの方法をとります。

- 葉面散布
 - ・ 作物によって差はありますが 1 反 (1000 m²) 当り約 150~300L を散布します。
 - ・ 希釈倍率は 50~300 倍です。(土壌 pH、作土の深さによります。)
 - ・ 散布頻度は 5~7 日に 1 度です。(土壌 pH、作土の深さによります。)
- 土壌かん注
 - ・ 特に樹木(果樹等)に対しては葉面散布と一緒に”かん注”が有効です。
 - ・ かん注の場合 50 倍程度に希釈された ECOMIZER® を用います。
 - ・ 量は土が十分に湿るだけかん注して下さい。(ジャブジャブ感が重要です。)



↑
作土層
↓

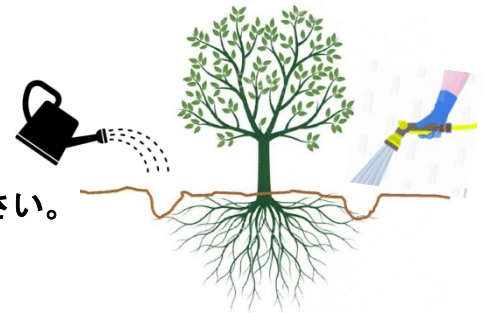
樹木の根は地上の枝とほぼ同程度張っています。



根の先端と思われる場所に 10 cm 程樹木の周囲に穴を掘って下さい。



その穴を目がけて 50 倍に希釈された ECOMIZER® をたっぷり注入して下さい。



●浸漬

- ・ ECOMIZER® を 50 倍程度に希釈し種を浸漬して下さい。
- ・ 葉面散布、かん注が不可能な時用います。
- ・ 米、小麦の種は浸漬から始めるのが良いでしょう。
- ・ 浸漬の目的は①選別(良い種) ②殺菌 ③活性化の為です。(米、小麦は 8 時間程が良いでしょう)



8 時間浸漬 (小麦)



浸漬後かん燥



大型マシンで播種

電解電子機能水農法は然程難しいものではありません。誰がやってもしっかりとした結果が出ます。

(一般に海外では手抜き農法と言われています。)